

独自の技術を装置として外販 ASTI株式会社 様

この4月に発売となったプリント基板の製造装置にアルミ構造材SFをご採用いただいた
ASTI株式会社様を訪問しました。

2008年1月16日 〜18日 、東京ビッグサイトで開催されたインターネプコン・ジャパン展。エレクトロニクス製造に関する装置、部品、技術、材料が一堂に集まるこの展示会を視察していたSUSの社員は、とある製品に目が止まりました。株式会社ASTI(アスティ)様が展示していたプリント基板を扱う装置です。工場の生産設備として用いられることの多いアルミ構造材SFが製品に使われているということで、さっそくASTI様を訪ね、FA推進部部長の下山彰様、次長の岡本秀之様にお話を伺いました。

プリント基板のはんだ付けから 切断までを機能ごとに装置化

この時にASTI様が展示していた製品は、その後4月1日に正式に発売となったフレックスポイント溶ダ、マイクロドットディスペンサ、PCBセパレータという3つの装置と、参考商品として開発した画像処理検査装置です。

フレックスポイント溶ダとは、両面リフロー基板への後付け部品を局所的にはんだ付けする装置です。新しく開発された噴流ノズルの採用で、はんだブリッジの低減に成功しました。マイクロドットディスペンサとは、防湿剤の塗布装置。手塗り作業では難しかった狭エリ

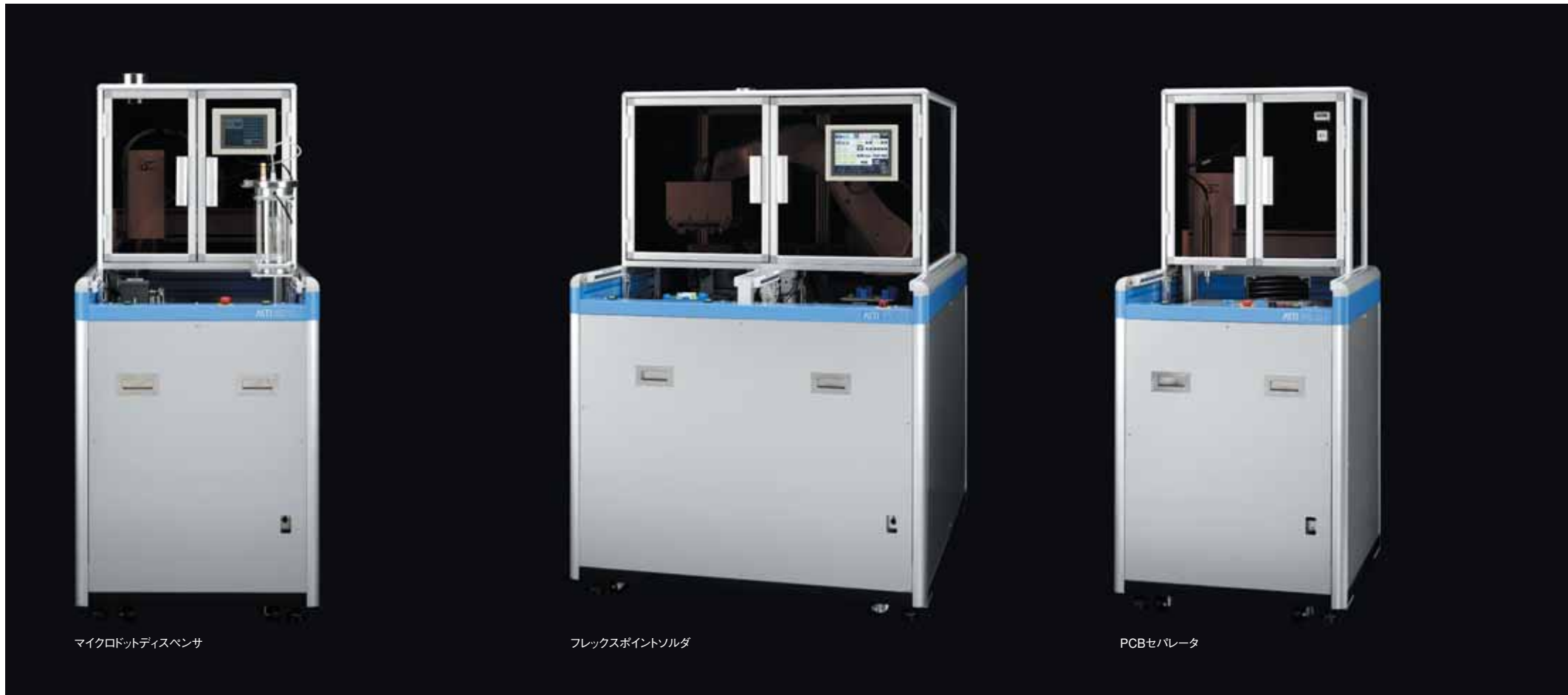
アへの自動塗布を実現しています。また、PCBセパレータとは基板分割装置。集塵機内臓でルーターカット方式を採用しています。これら装置はすべて変種変量生産に対応した小型オールインワンマシンです。

独自の技術を装置として外販する

ASTI様は車載電装品、情報通信機器、また、ホームエレクトロニクスをはじめとしたさまざまな分野で使われるエレクトロニクス製品の企画、開発、製造を行っています。このようなメーカーがなぜフレックスポイント溶ダなどの装置を商品化したのでしょうか。

「プリント基板のはんだ付けや防湿剤塗布、基板分割は、車載・制御機器向けプリント基板を製造する過程で必要とされる作業です。量産試作の際に工場監査に訪れ、各工程、各設備の評価に立ち合われたお客様から、当社にも販売してもらえないかとのお話をいただき、それがきっかけになりました」。

SUSのアルミ構造材SFを使うことは、前提として進められていたといいます。「美観に優れていること、後からいろいろなものがつけられるなど汎用性が高いこと」が採用の理由だったとのことでした。



マイクロドットディスペンサ

フレックスポイント溶ダ

PCBセパレータ



ノズル乾燥防止機能および吐出確認機能を搭載。
(マイクロドットディスペンサ)

込んでいます」。

実績に加え、コンパクトでオールインワンというのもセールスポイントだといえます。セパレータを例にとっていえば、吸塵機内蔵で幅700mm、奥行き760mmの中にすべてを納めています。価格についても、開発段階から社内で蓄積された生産面でのノウハウが転用されている分、専業メーカーの製品と比べコストメリットがあるのではないかとのお話でした。

ユーザーがアルミフレームの可能性を引き出す

ASTI様とSUSのお付き合いは約10年。同じ静岡県内の企業ということもあり、弊社がアルミフレームの事業を立ち上げた直後からご採

実績こそが最大の武器

はんだ付けにしても塗布機にしてもセパレータにしても専門メーカーがあります。

このようなメーカーにはないセールスポイントとして、ASTI様は「実績」を挙げます。「今年の4月に発売を開始したばかりですが、自社の生産設備として、長いもので7年、短いものでも4年の実績があることが最大の強み

です。しかも自社のみでなく、弊社お取引先である、大手自動車メーカーの厳しい品質基準もクリアできていますので、それだけ安心して使っていただける自信があります。また、専門メーカーとは違い、われわれは実際に使っていますので、現場で何が必要とされているかを理解できます。つまり、工数低減やメンテナンスフリー化といった面では、弊社内の現場で何年も試行錯誤したアイデアを製品に盛り

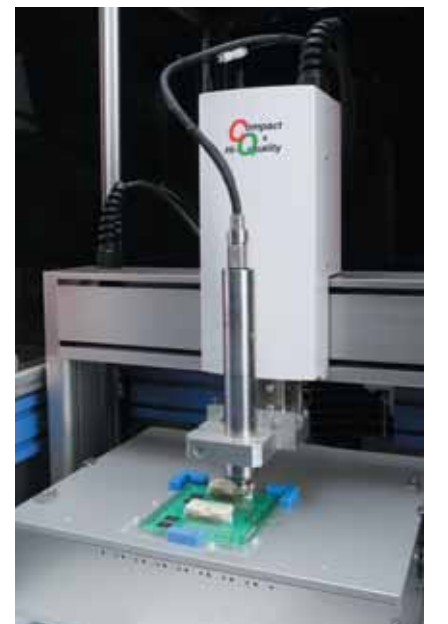
用頂いております。

「アルミフレームの利点は、第一に汎用性です。寸法に関しても伸ばすことはできませんが、短くする分には何とかなるという安心さがあります。スチールのように塗装する必要もありません」。

アルミパイプ構造材GFも、ASTI様には発売早々にご購入いただきました。

「GFはもっぱら作業台として使っていますが、最近、それとは別に新しい工法を試行する際に採用しました。既存の現場での小改善と異なり、新しい工法の提案となりますと、見た目も重要なポイントとなりますからね」。

美観、そして汎用性。アルミフレームの可能性を改めて感じる今回の取材となりました。



ルーターカット方式でクリアカット(PCBセパレータ)。